

スローガンは *Make New Answer!* つくり、新しい答え。

私たちは「対決より解決」の姿勢で、
正直で偏らない「現実的な」政治を進めてまいります。

国民民主党とちぎ県連所属 議員活動報告（議会報告）



幹事長
落合 誠記
おちあい せいき
59歳
壬生町議会議員
(6期)

物価や資材の高騰が国民生活、そして地域経済を直撃しています。国民民主党は、ガソリンの減税、消費税減税、所得税減税、法人税減税を柱に生活を支え、「給料が上がる経済」を標榜してまいります。

壬生町においては大型商業施設の立地に伴う土地区画整理事業や壬生PAスマートICの整備、道の駅のリニューアルオープン、新産業団地の造成等進捗が図れるなか、「壬生町創生総合戦略」が掲げる、安定した雇用を創出する、新しい人の流れをつくる、結婚・出産・子育ての希望をかなえる、安心して元気に暮らす—これらを具現するための様々な提案等、人口減少時代に負けない、持続可能な活力ある地域づくりを目指し、「ともに支え合う、パートナーシップのまちづくり」にまい進いたします。



広報委員長
川村 寿利
かわむら ひさとし
75歳
日光市議会議員
(4期)

私はサラリーマン時代に培った「三現主義」を議員活動に活かし、市民とコミュニケーションを図りながら、課題等の解決に向けて取り組んでいます。市民から意見・要望等を受けた時には、迅速に「現場」に出向き、立会で「現物」を観察し、「現実」を認識して改善策の検討に努めているところです。

近年、インターネットの普及やICTの発展により、情報は簡単に取得でき、机上論で現状を把握しがちになり、現実と異なる対応・対策を行ってしまう恐れがあります。これから本格的なDX化に向けて、三現主義の重要性が高まることから、より一層議員活動に活かし積極的に取り組んでまいります。



政策調査委員長
山野井 孝
やまのい たかし
63歳
小山市議会議員
(6期)

小山市は、今年3月31日に市制70周年を迎え、記念式典をはじめ多くの行事が予定されています。また、30年後の市制100周年に「田園環境都市おやま」を引き継ぐために、市民フォーラムの開催や、地区ごとの風土性調査などを実施し、ビジョン策定を進めています。

6月9日には小山市のシンボルである「城山公園」がリニューアルオープンされ、記念式典が行われました。かつて、市民に愛されていた桜の老木はなくなり、一面を芝生で覆われた明るい公園に生まれ変わりました。今後は、市民の憩いの場として利用されることを期待しています。



代表
駒場 昭夫
こまば あきお
65歳
宇都宮市議会議員
(5期)

宇都宮市議会議員として、5期2年目を迎えました。本年度は、監査委員、総務常任委員会副委員長、脱炭素社会調査特別委員会委員長を務めることとなりました。

特に監査委員としては、公正不偏の立場から監査を的確に実施し、より公正で開かれた行財政運営の実現を図ってまいります。また、脱炭素社会調査特別委員会では、脱炭素社会の実現に向け提言を行います。

今後も、国民・県民・市民の負託に応えられるよう、議員活動に努めてまいります。



財政委員長
眞壁 俊郎
まかべ としろう
66歳
那須塩原市議会議員
(5期)

令和6年度の市政運営は「ここに住んでいけば生き延びられる」と実感できるように、那須塩原市は実現に向けて、地方分散の受け皿・那須塩原市のブランディング・資源と経済の地域内循環の3つの視点から取り組んでいます。主要施策のひとつとして、那須塩原駅周辺まちづくり基本計画策定や令和9年度竣工計画の行政機能だけでなく、市民が集うシティホールとしての新庁舎建設に取り組んでいます。

私は、現在、副議長ならびに庁舎建設検討特別委員会委員長を務めています。皆様が安全・安心に暮らせるまちづくりを引き続き進めてまいります。



組織委員長
青田 兆史
あおた よしひと
60歳
日光市議会議員
(4期)

日光市議会は、5月臨時議会にて正副議長をはじめ、各常任委員会の人事も決まり任期の後半がスタートしました。私の所属する委員会は、観光産業常任委員会(委員長)・広報広聴委員会・公共施設等あり方検討委員会です。常任委員会では、人口減少や少子高齢化が進む中、生活サービスを維持し利便性の高いまちの形成、コンパクトで持続可能なまちづくりが必要とされております。

さらには、当市の魅力ある観光資源を活かした経済・産業活動による賑わいのあるまちづくりも求められており、この課題をテーマに調査研究をしてまいります。



国民運動委員長
小太刀 孝之
こただち たかゆき
59歳
栃木市議会議員
(1期)

栃木市では栃木IC近隣に栃木インター産業団地および都賀IC近隣に平川産業団地を現在造成工事中です。どちらも東京圏をはじめ、全国主要都市へのアクセスが容易であることなど交通利便性も良く、立地条件が非常に優れております。栃木インター産業団地では、通信インフラが複数系統引き込み可能であることから、データセンター立地を視野に入れた新たな産業拠点が期待されます。平川産業団地は、地下水が豊富な地域であることから、栃木市フードバレー構想の推進に向けた産業団地となります。新たな企業を誘致し、働く場所を創出することで定住促進に繋がり、人口減少の歯止めになる事を期待するところです。

党員・サポーター 募集中

私たちと一緒に「新しい答え」を作っていただける党員・サポーターを募集しています！

党員

Member

【入党資格】●国民民主党の基本理念と政策に賛同される方●満18歳以上で日本国民である方●党費は年間4,000円です。●資格期間はお申し込み手続きが完了した日から1年間です。●党員は、代表選挙で投票することができます。●党員は、国民民主党の運営や活動、政策等の決定に参画することができます。

サポーター

Supporter

【入会資格】●国民民主党を応援したい方●満18歳以上の方●会費は年間2,000円です。●資格期間はお申し込み手続きが完了した日から1年間です。●日本国民のサポーターは代表選挙で投票することができます。●サポーターは、党の行事および活動に参加できます。

▶ お申し込みは、国民民主党とちぎ県連 TEL.028-611-5005まで。

*2024年度秋の募集締切は、9月20日(金)です。



代表などの役員と
直接意見交換の機会も!



●国民民主党とちぎ公式SNSで情報発信中！ぜひご覧ください！



お問い合わせ

国民民主党栃木県総支部連合会

TEL.028-611-5005

http://dp-tochigi.jp/

